

月刊 おかじょうき

<http://www.okajoki.com/>

誌上句会

「0番線」

発表号

2020

9



題「的」	ながたままみ 選	4
	須藤しんのすけ 選	6
無人駅鑑賞「カンテラ」	むさし	8
会員雑詠集「無人駅」		13
■例月句会結果■		
おかげょうき川柳社	8月誌上句会	23
川柳吟行会「ぼ」		29
十和田たてがみ川柳会	7月句会報	27
■連載■		
「深艘心理」	奈良一艘	12
Infomation		33～

0 番線

選 ながたまみ 「的」 題

【佳作】

- 個性的褒められたことにして置く
ちよいとばかり的を手前へ願います
目的を果たすめでたしめでたしね
おそれつつきみに直球投げてみる
迷ったらわたしを狙ってもいいよ
この的で十年までは走れます
夕焼けも夕日も的を外さない
あなたへの愛だと知って外す的
的外れ私考を風に笑われる
的を射ぬ話が続くフライパン
定期的に取り換えておく点と線
ギョツとしてもらうと合っていく焦点
老人がずらり並んで的にされ
多目的ホールの口は泡だらけ
お日さんにとんびが的を描きやがる
外すたび的がだんだん薄くなる
- 石川県 石倉多美子
愛媛県 星野美根子
愛媛県 山内房子
石川県 石倉多美子
愛媛県 吉松澄子
愛媛県 土居新山
青森県 柳谷たかお
岡山県 しばたかずみ
岩手県 加差野静浪
青森県 稲見則彦
愛媛県 郷田みや
青森県 夏草ふぶき
新潟県 星井五郎
愛知県 安藤なみ
長野県 西沢葉火
愛媛県 西本幸子

- 鉄砲を撃つても撃つてもしゃぼん玉
成熟した的をトロトロに煮込む
蜘蛛の巣に顔をとられに別室へ
いさぎよく夏大根の的になる
- 青森県 旅 男
広島県 笹重耕三
青森県 旅 男
福島県 中野敦子

- 【秀逸】
手首って具体的には雨である
父というのが小さくなってゆく
的になる私を消して水になる
- 徳島県 徳長 怜
和歌山県 三宅保州
愛媛県 西村寛子

- 【特選】
社会的キヨリを保って金魚鉢
- 大阪府 笠嶋恵美子

【特選】急に脚光をあび、やや脅迫観念的に浸透していつている社会的距離という言葉、ふわりと軽くしてくれた金魚鉢に拍手です。

【秀1】句の中での的になっている

評 選

人やなりたい人はたくさんいます
たが、水になって消えた人は一人
だけでした。秀逸です。

【秀2】父と向き合っている歳月
がそみせるのでしょうか。それとも
何か悪いことでもしたんでしょう

ながたまみ

うか、ちち。
【秀3】解釈が難しい句です。イメージ先行型選句です。女性の細かい手首を連想します。掴めない儂い感じ。的外れかも知れませんが。

0番線

選 須藤しんのすけ 「的」 題

【佳作】

父という的が小さくなってゆく
悪しからず私はじつとしていない
蛇の目傘わたしが的になりましよう
目的にたどりつくまで砂漠ゆく
お目当てを絞り込めない風見鶏
残ってる一個買おうか止めようか
照準はピタリお覚悟なさいませ
鉄砲を撃つても撃つてもしゃぼん玉
手探りのかすかに触れる指の先
くという底に埋もれて点となる
あなたから全てのベクトルを奪う
縄文の女神のヘソは的だろう
いさぎよく夏大根の的になる
目的のない顔のまま電車乗る
成熟した的をトロトロに煮込む
哀愁のリングは的にされやすい

和歌山県 三宅保州
青森県 まみどり
岡山県 木下草風
青森県 村上てる
青森県 尾上 宏
青森県 葉 閑女
茨城県 佐瀬貴子
青森県 旅 男
滋賀県 大谷のり子
青森県 田中 薫
福岡県 もりともみち
高知県 萩原良子
福島県 中野敦子
愛知県 丸山 進
広島県 笹重耕三
愛媛県 吉松澄子

夕焼けも夕日も的を外さない
外すたび的がだんだん薄くなる
爪を噛む男の背なは狙えない
標的の真ん中に置くルドンの目

青森県 柳谷たかお
愛媛県 西本幸子
大阪府 上嶋幸雀
大阪府 笠嶋恵美子

【秀逸】

保守的な男と食べるかき氷
敵はいま本能寺にはおりません
福耳の的屋の男来ない夏

青森県 まき こ
青森県 渡邊こあき
高知県 小野善江
青森県 熊谷冬鼓

【特選】

的外れな会話が続く三丁目

【秀逸】「保守的な氷」「居留守の本能寺」「福耳の的屋」。どれも目にしたら笑ってしまいそうだが、絶対に無いと言いつれないところが、可笑しみを感じる。微妙なニュ

選 評

アンズに惹かれた。
【特選】自分が正しいと思っ
ていることの半分は、他人から間違っ
ていると思われるらしい。噛み合
わない会話は、互いに相手が聞

須藤しんのすけ

違っていると思っ
ているからであ
る。しかし、それでいいのではな
いか。「三丁目」に、すれ違う中
での愛おしい人間性が見える。

【0番線「的」：投句者 105名】中川喜代子・佐藤春子・尾上宏・斉尾くにこ・木下草風・稲見則彦・三宅保州・老沼正一・荻野浩子・しばたかずみ・青野舞・山内美恵子・石倉多美子・土居新山・柳谷たかお・安藤なみ・一帆・西沢葉火・米山明日歌・吉松澄子・吉見恵子・伊藤正美・三好光明・村上てる・大内せつ子・中川吉田吹喜・森山文基・四ツ屋いずみ・石橋芳山・土田雅子・葉 閑女・岡村水無月・上嶋幸雀・ひとり静・丸山 進・守田啓子・笠嶋恵美子・大西 進・山内房子・大谷のり子・西村寛子・まみどり・笹田かなえ・滋野さち・もりともみち・徳長 伶・笹田隆志・吉原美佐・まきこ・田中 薫・青砥和子・月

ひらく・佐瀬貴子・加差野静浪・星井五郎・近藤朋子・中野敦子・松木慎吾・峯岸柳舟・柳本恵子・中西科・上原稔・田中なお・山内もとこ・笹重耕三・洋子・西本幸子・忽那晴美・尾崎良仁・鎌倉俊一・岡山フジエ・長井みち子・鷲野豊美・渡邊こあき・旅男・村上あつこ・岩根彰子・かんえもん・河野潤々・小林茂子・萩原良子・成田我楽・白戸まつ子・村井規子・中島順子・小野善江・櫻村日華・立花末美・丸山健三・永見心咲・みつ木もも花・星野美根子・波与生・早瀬たか子・鳴海賢治・藤田めぐみ・郷田みや・熊谷冬鼓・夏草ふぶき・城後朱美・Sin・瀧村小奈生・加藤月子・高市すみこ・柴田美都

カンテラ

まぶろし

「無人駅」に集まった句が私のところに届いてからかなり時間が経っている。

きょうは8月13日、つまりお盆。

のんきなのではなく、句を選んだり並べたりするのに時間がかかったという訳でもなく、ただ単に書くのが億劫なだけできょうになってしまったのです。

カンテラの締切は15日。締切が近づかないとエンジンが掛からない。

困った性格です。

困ったと言えば、お盆の後新型コロナウイルスの感染はどうなって行くんでしょう。

そして、それが句会の開催にどんな影響を及ぼすのだ

ろう。

コロナウイルスよ退散したまえ！

それでは、カンテラに明かりを灯しましょう。

A群

ずるずると中途半端が辿り着く	城後朱美
痰つぼの底に東京落ちていた	村井規子
星めぐり失くしたものは何だった	まみどり
夏の入口にある階段踏み外す	三浦蒼鬼
おぼんですタイガーマスク応答せよ	田中 薫
余ったたり足りなかったり夏の水	吉田州花
さよならの握力だけを信じてる	米山明日歌

昨日までピエロで今日はチンドン屋	石橋芳山
ヒマワリになれるかどつか歩き出す	辻井洋子
貸している時間返してください	土田雅子
捨ててもらうの捨てられるんじゃない	守田啓子
爪割れる火星は燃えているのかも	ひとり静
お静かに空のむくみが消えるまで	まきこ

まきこさん、「空」って「むくみ」があつたりするのですか。私は先日带状疱疹に罹って右目が腫れてしまっただけ、あれも「むくみ」ですよ。まきこさんところの空も带状疱疹に罹ったのかも…。で、「むくみ」って静かにすれば治るの？「空のむくみ」が消えるとコロナウイルスも消えるかな。消えればいいなあ。

B群

ひとりぼっちのパン	ひとりぼっちの海	鳴海賢治
朝一番口ダンの部屋は混んでいる		旅 男

ネジ花とお風呂セットとエコバック	熊谷冬鼓
ビビラせたのは正確無比な句読点	きさらぎ彼句吾
ひと言でこの川幅を濁らせる	斎藤泰子
火葬場で八分音符が傾いた	夏草ふぶき
ネジ一本はずれ彼岸花が開く	葉 閑女

葉閑女さん、「彼岸花」が好きですか？別名、曼珠沙華ですよ。秋彼岸のころ、茎の先に強く反り返った赤い花が咲いて、秋の終わりに葉が伸びてくるという変わった花です。で、毒がある。だからネズミが来て欲しくない田んぼなんか植えられる。そんな「彼岸花」ですが、あれって「ネジ」が「一本はずれる」と咲くんでしたか…。もしかしたら、彼岸花がいつぱい咲いてるところには「ネジ」があちこちに落ちてたりしてね(笑)そう言えば、特殊な刺激がないと動かない何かってあるよね。

〔群〕

その話なら後にしてくれ天津飯
奈良一艘
staff only から金魚鉢の匂い
月波与生
しょうがないですねと8月の穴が云う
かんえもん
具の無いカレー乗り遅れたいバスを待つ
須藤しんのすけ

奈良一艘さん、「その話なら後にしてくれ」ってことは「天津飯」がお好みじゃないのかな？「天津飯」は広辞苑第七版によると「蟹玉（かにたま）を白飯にのせ、黒酢の餡をかけた料理。日本で作られた」です。それはそうだけど、この句を認識した私の脳みそは一瞬にして「ドラゴンボール」（鳥山明の漫画）へワープし、3つの目を持って舞空術やどん波、かめはめ波などの技を使う「天津飯」というファイターへ行き着きました。そうして、この句がするつと読めました。「天津飯」は、主人公孫悟空の師匠亀仙人のライバル鶴仙人の弟子。もしかしたら一艘さんて亀仙人の弟子だった？こんなに書いて

なつた飛行機事故もありましたが、それとも違うようですね。もしかしたら、かんえもんさんには1月の穴から12月の穴まで12個の穴があつて、何かあると「しようがないですね」とその月の穴に言われているんじゃないでしょうか。どんなことを言われるんだろう。「穴」にかを言われると凹むなあ…（汗）

須藤しんのすけさん、「乗り遅れたいバス」ってどういうこと？仕事に行きたくないからいつもの通勤バスに乗りたくないってこと？「乗り遅れたい」のにどうして待てるの？しかも「具の無いカレー」になんかちやつて。具が無くてもカレーはやつぱりカレーなんだろうな…。でも、美味しくないだろうな…。バスに乗り遅れたら会社を休むのかな？それとも、次のバスで行く？で、結局どうなるのかな…。世の中変なことばっかりだ、ムニヤムニヤぼん！

ても分からないひとは分からないことだろうな（汗）あれ？違う？

月波与生さん、「staff only」って「職員専用」「関係者以外立ち入り禁止」のことだよな。つまり、一般のお客さんが入ってはいけないところ。そこから「金魚鉢の匂い」がするということは、もしかしたら「staff only」と掲示されたドアの向こうが「金魚鉢」になつてゐるってこと？そのドアを開けると部屋中にランチュウや和金や出目金なんか泳いでいたりしてね（笑）竜宮城の現代版ってところかな…。「臭い（におい）」じゃなく「匂い」と書かれてあつてホツとしました。

かんえもんさん、名前が漢字からひらがなになつて気分はいかが？優しい感じの名前になりましたね。でも、相変わらず風変わりな句を書かれますね（笑）「8月の穴」って何ですか？日本で8月の「穴」と言われて真つ先に思い出すのは広島と長崎の原爆ですが、そうじゃないようですね。坂本九さんなど500人超のひとが亡く

川柳作品をお待ちしております。

■題「時事川柳」むさし選

時事川柳をひとり何句でも。郵便番号・住所・氏名・電話番号を明記のうえ下記へ投句して下さい。

【投句先】メール：aomori@yomiuri.com 「よみうり文芸」時事川柳係
ハガキ：〒030-0801 青森市新町2-2-4 新町二丁目ビル6階
読賣新聞青森支局 「よみうり文芸」時事川柳係
【掲載】毎週火曜日／【賞】秀逸には図書カードを贈呈

読賣新聞

深艘心理

じゃがバターまた密会は不成立
髪に指差し込まれ夏始まった

菊池 京
藤田めぐみ

(新葉館出版「精鋭作家川柳選集」北海道・東北編)

お二人共おかしようき川柳社の会員である。

この度川柳マガジンによる全国の精鋭作家合同句集を上梓された由、お喜びを申し上げます。もうひとかた当会員の須藤しんのすけ氏も名を連ねておられるのだが、同氏の句は先月号で取り上げさせて頂いたので割愛した旨ご容赦願いたい。

さて掲句だが、両句共女性の瑞々しい感性による「愛」を取り上げていて、それぞれの個人的なエロチシズムにはドキンとさせられるものがある。

菊池京句のじゃがバターに感じる西洋風で濃厚な香りと、密会という古風でやや淫らなフ

レーズは、不成立という着地でこの後のドラマを勝手に妄想させてくれて楽しい。

藤田めぐみ句の髪に指を差し込む行為もまたフランス映画の一シーンを観ているようで妖艶な大人のエロスが悩ましい。

胸に手を当ててみれば、遠い昔にあったような、なかったような：薄っすらとした恋の記憶を呼び戻してくれる。切り口の角度はそれぞれ違ってはいるのだが、どちらも一冊の恋愛小説を充分書ける程の深さと切り取りの妙を備えているところが頼もしい限りだ。

今後とも一層のご健吟を望むところである。

おかしようき川柳社会員雑詠集

無人駅

★無人駅8月月間賞

臍の位置ときどき変えにくる男

米山明日歌

旅男【たびお・青森県五所川原市】

喰うためのけもの道から道に出た
階段をだびよんだびよんと登る人
朝一番ロダンの部屋は混んでいる
ツレヴィヨン ジュデーナマツザヴィー
ンダヴィヨン
胸キュン青春ドカンとラヂオ吠え

先月号の
お気に入り
幸せって何？欠けてる飯茶碗
墓地に行つて、故人の飯茶碗にお供えをします。欠けて
いるから一層、生活が億べれます。(私の場合)
城後朱美

田中薫【たなかかおる・青森県弘前市】

おしずかに負を前に睨めつこ中
おぼんですタイガーマスク応答せよ
なんだかな洗濯槽にも急かされて
オンナ、妻、母を演じて畳み掛け
アカシヤが言い訳をしながら揺れてる

先月号の
お気に入り
なんだかなあ なんだかなあ って死んでいく Sin
…深すぎ…

土田雅子【つちたまさこ・青森県青森市】

貸している時間返してくれますか
遠雷や都心の人身事故続く
触れたら最後までわりついで来る
アルデンテで過ごす夫婦の匙加減
追悼の形でつつじうなだれる

先月号の
お気に入り
肩の骨外して小銭数えてる
小銭だいたい貯まりましたね！
三浦蒼鬼

夏草ふぶき【なつくさふぶき・青森県青森市】

雑草を引っこ抜いたらサスペンス
火葬場で八分音符が傾いた
燃えるゴミそれとも食うかメダカの死
足元が貧相だった鯛のアラ
澱んでる空気で角を曲がります

先月号の
お気に入り
重くて痛くて少し埋まってる
放っておけず掘りたくなります。
まみどり

月波与生【つきなみよじょう・宮城県仙台市】

ラスボスも泣くんだバグったりせずに
玉音のようだカルピス原液音
staff only から金魚鉢の匂い
晩年を映すプラネタリウムらし
ないものはない子供食堂なまなまご

先月号の
お気に入り
肩の骨外して小銭数えてる
おもしろい。
三浦蒼鬼

辻井洋子【つじいようこ・青森県青森市】

はじけたい思いは空にしやぼん玉
縁側で年寄ひとり出来上がる
日溜りの夢の続きはすぐ終わる
接点が欲しいアンテナ買いに行く
ヒマワリになれるかどうか歩き出す

先月号の
お気に入り
子供の日母の日忙しい手首
雑用の多い女の手首、大事に使いたいものです。
葉閑女

奈良一艘【ならいつそう・青森県弘前市】

お名前はベイカーベイカーパラドクス
虎の尾としての涙のながし方
ライスオムレットに於けるケチャップの役割
煮ごりがテークアウトを考える
その話なら後にしてくれ天津飯

先月号の
お気に入り
ぐうたらで斜めでえげつなくネジレ
なんか刺さるわあ。あつはっは
石橋芳山

鳴海賢治【なるみけんじ・青森県つがる市】

ひとりぼっちのパン ひとりぼっちの海
急でしたへんてこりんな雨が降る
早い者勝ちです時計回りです
ブランコがまた揺れた感染症者
上機嫌なうちにジャンケンをしよう

先月号の
お気に入り
肩の骨外して小銭数えてる
おもしろい。
三浦蒼鬼

ひとり静

【ひとりしずか・奈良県大和郡山市】
暗譜する空の青さに溶けながら
えんえんとエンドロールは銀河まで
爪割れる火星は燃えているのかも
クレヨンの黄色負けないように塗る
ふあふあ空にもたれてねむの花

先月号のお気に入り

童話読むブランコ揺れる瞬間がある
ゆっくりと確かに揺れていますね
辻井洋子

ひとは

【ひとは・青森県黒石市】
オママゴト始めませんか猫ちぐら
オッドアイ瞳の中の天の川
ノラ猫の涙に光る蒼い月
毛玉切る絡み合ってる悪巧み
カギ尻尾つけて幸せ引つ掛ける

先月号のお気に入り

三浦蒼鬼

【みうらそうき・青森県黒石市】
基準によると指名手配の顔である
夏の入口にある階段踏み外す
言い訳はしない左の土踏まず
限られた時間ひとりのロードショー
世界が終わるまで追いつけます那由多

先月号のお気に入り

村井規子

【むらいのりこ・青森県大鰐町】
三島氏の憂いに答え自主憲法
人間として空腹で本を読む
作句にも少し命をかけようか
痰つぼの底に東京落ちていた
考える事を大人が避けている

先月号のお気に入り

まみどり

【まきこ・青森県青森市】
引き出しの奥にひっそり二枚舌
あんパンを見つけスタートダッシュする
お静かに空のむくみが消えるまで
ラジオ体操第二おんなが通す意地
ひたすらに走りゴールはシャボン玉

先月号のお気に入り

おしやべりが止まらないのはザルのせい
まみどり
誰かさんのせいじゃない。ザルにもいろいろありますね。
ですね。

まみどり

【まみどり・青森県黒石市】
星めぐり失くしたものは何だった
少しずつジグソーパズル埋めるよに
想い出をつなぎ合わせる一欠片
だからつてグレーゾーンは許せない
いたずらに駆け抜けてきた日としても

先月号のお気に入り

本閉じる だあれも約束してくれぬ 熊谷冬鼓
無心に読んでいるから声をかけづらかったのよ。

村上あつこ

【むらかみあつこ・青森県青森市】
呆けと体重だけが増えたステイホーム
座り癱腰が痛くて動けない
デコボコを修理しながら行く老後
賞味期限切れた脳みそ徘徊中
知らぬ間にできないことが増えて古希

先月号のお気に入り

自分らしい音を探して迷子です
ひとは
自分らしい音って何だろう 私にもわかりません

村上てる

【むらかみてる・青森県青森市】
老いてなお万歩計に生かされて
輝いた過去なつかしむ枯れ芒
過去は過去今は明日だけみえています
生きてゆく地道に生きよと父の声
ノーマクサンマンダあと五年は生きられる

先月号のお気に入り

凜としたつぼみにいだく嫉妬心
まみどり
私もそっとう感情にとられ同感です

守田啓子【もりたけいこ・青森県青森市】

お気遣いなく通りすがりの風だから
お返しにいただいでしまった迷路
捨ててもらおうの捨てられるんじやなくて
スナップエンドウぼりっ しっかりしなくっちゃ
まちがってないのに合飲の木が揺れる

先月号のお気に入り
ときめきは過去穏やかな月の色
理想的晩年のふたりの過ごし方です。
まきこ

柳谷たかお【やなぎやたかお・青森県外ヶ浜町】

二足歩行ここから男 戦好き
過去みんな不要不急と言えるかも
言い訳はより美しく美しく
夕陽見る席は一番乗りに着く
向かい風あまり頑張らずに進む

先月号のお気に入り
恙なく桜へ集うはずだった
来年の春は春らしい春を期待
吉田州花

吉田吹喜【よしだふぶき・青森県弘前市】

世界からちよつと浮いている足元
知りたくてたまらなくなるのよ 歩数
やや緑 ハートが蘇ってくる
今だ!と思つてソレツと食べる
ハッヒフツへホッ 長生きの秘訣はお金

先月号のお気に入り
春なのに何処にも行けぬ旅男くん 旅男
ほんとにそうですよねえ。じーつとうちにいるうちに老
け込んでしまつて気がして いや!

吉見恵子【よしみけいこ・青森県青森市】

都会よりもはや帰れず赤とんぼ
決壊す 水の巨人の降ろす足
生きるとは 回す地球儀午後の雨
露草のいつかひとりととなるこの世
赤い実を食べた羽ペンかく野望

先月号のお気に入り

葉閑女【ようかんによ・青森県青森市】

目覚めたら九月ゆつくり散る桜
ネジ一本はずれ彼岸花が開く
約束の覚えはないとこぼれ萩
百代の過客の中で黄昏れる
地上からの答ですよと咲くダリア

先月号のお気に入り
バス停に並ぶ演劇部の衣装
何でもありの時代ですものね。しかし、
フパンツはちよつとね?!。
須藤しんのすけ
○艘先輩のハイ

吉田州花【よしだしゅうか・青森県青森市】

ズッキーニゴーヤインゲン夏衣
暑くなどないわパリッと夏マスク
余つたり足りなかつたり夏の水
ずつと先の約束なんてのうぜん花
夏仕様カーテンスリッパ紅の位置

先月号のお気に入り
らしくないことをしようか駅バノ ひとり静
らしくないなんて 誰も思わない

米山明日歌【よねやますか・静岡県長泉町】

青く去るさよならならば横向きで
さよならの握力だけを信じてる
くるところまで来てしまつてからのレモン
軒下という来るものを待つ薄ら闇
淋しさの脚をなんども組み直す

先月号のお気に入り
私ですか雨の形をしますか 守田啓子
私も気を抜くと、雨の形になっているときがあります。

安藤なみ【あんどなみ・愛知県瀬戸市】

チャペル鳴くチャペル時間がかまわない
銀色の月に隠れて咳をする
窓にもたれてくずれる夜明けのモモ
ブランコも胸も切り裂く光沢紙
モノクロの昼 瞑想をする杉林

先月号のお気に入り
吐き出してしまえば済んでしまつこと 守田啓子
多いです

石橋芳山【いしばしほうざん・島根県松江市】

マグロにもなれずコンビニの残飯
少年も22時にはオ・ト・コだし
首の輪を外してポールtoポール
昨日までピエロで今日はチンドン屋
のつペリのままでトランポリンになる

先月号の
お気に入り

かんえもん【かんえもん・神奈川県横浜市】

ピリヨードを消して下さい砂時計
ウジャウジャと生きポツンポツンと消える
しようがないですねと8月の穴が云う
濁るまい調子ハズレのQだけど
飛んでますいま世の中の成層圏

先月号の
お気に入り

私ですか雨の形をしますか 守田啓子
雨の形という表現に心が動きました。詩情にあふれて
います。

斎藤泰子【さいとうたいこ・秋田県大館市】

曖昧なわたしを脅す梅雨の雷
ひと言でこの川幅を濁らせる
地獄絵にじつと見入ってしまう訳
残酷も言うんだったね若さって
まだ足りぬ 赤いトマトになる時間

先月号の
お気に入り

とりあえず今は自分を守ること 城後朱美
そうしてたくさんの方に不義理してきました。すみませ
んです。

笹田隆志【ささだたかし・青森県青森市】

そつと耳打ちパンデミックな黙示録
焼き肉をピーガンにするアスリート
カミユは好きカフカが嫌い感染者
ゴールなきスタートラインに立つ魯迅
ドライアイスが好き漱石の天然痘

先月号の
お気に入り

血糖値がどーした！一律一万円給付 奈良一艘
この句で、血糖値がどつとあがりました。

きさらぎ彼句吾【きさらぎあくあ・青森県弘前市】

おいしくなるからと三分間焦らす
どこから見てもひまわりな二枚舌
足裏見せ合い煮つ転がしになる
ビビらせたのは正確無比な句読点
桜散るのも僕が死ぬのも句読点

先月号の
お気に入り

パピペポ語で怒るがよいか 奈良一艘
人間性もパピペポだもんね(笑)

熊谷冬鼓【くまがいとうこ・青森県青森市】

ウツウツを払う箒を育ててる
小鳥来てトマトの赤を見て帰る
ネジ花とお風呂セットとエコバック
種埋めるいつか実のなる前提で
ステイホームしつくりこない椅子といる

先月号の
お気に入り

嫌だ嫌だ反り返ってる明朝体 勘右衛門
ガチガチのゴシック体も困りもんだけどな。

城後朱美【じょうごあけみ・福岡県八女市】

ずるずると中途半端が辿り着く
月曜日に中途半端が酔っ払う
中途半端がグレイゾーンに勝ちました
先が読めない中途半端に夏が来る
中途半端がデッカイ夢を語り出す

先月号の
お気に入り

割烹着姿は無敵でなくなった 安藤なみ
コロナ対策、給食当番の男性教師の割烹着姿、無敵です。

S i n【しん・青森県外ヶ浜町】

その光る筐体は無機質のオルゴールかね
アクリルに映った八月の後ろめたさ
ゆうべから揺すられている疑似狂気
カンパネルラをぼしやぼしやしてやろう
いずれこの部屋も事故物件なんだろう

先月号の
お気に入り

もう春を放つたらかしているの ひとり静
この「春」を諦めた感に、いろんな感情を読み取れると
いう経験は、貴重だったと思う。



家にいよう

▼投句者 (50名・到着順)

- | | |
|---------------|---------------|
| 安藤なみ (愛知県) | 吉田吹喜 (青森県) |
| 峯島 妙 (大阪府) | まきこ (青森県) |
| 朧 (千葉県) | 葉 閑女 (青森県) |
| 尾崎良仁 (千葉県) | 斎藤泰子 (秋田県) |
| かんえもん (神奈川県) | 須藤しんのすけ (青森県) |
| 石橋芳山 (島根県) | 中村暁代 (岩手県) |
| 四ツ屋 いずみ (北海道) | 田中薫 (青森県) |
| 旅男 (青森県) | きさらぎ彼句吾 (青森県) |
| 村上あつこ (青森県) | 岸井ふさゑ (大阪府) |
| 紫の園 (東京都) | 夏草ふぶき (青森県) |
| 宮井いずみ (大阪府) | 守田啓子 (青森県) |
| むさし (青森県) | 笹田隆志 (青森県) |
| 三好光明 (愛知県) | 鳴海賢治 (青森県) |
| 柳本恵子 (奈良県) | 月波与生 (宮城県) |
| 米山明日歌 (静岡県) | 三浦蒼鬼 (青森県) |
| 木村美映 (青森県) | 雪上牡丹餅 (神奈川県) |
| 吉松澄子 (愛媛県) | 徳長 怜 (徳島県) |
| 土田雅子 (青森県) | 青砥和子 (愛知県) |
| 斉尾くにこ (鳥取県) | 笹田かなえ (青森県) |
| 村井規子 (青森県) | 田久保亜蘭 (秋田県) |
| 岩根彰子 (京都府) | 一帆 (秋田県) |
| 郷田みや (愛媛県) | 滋野さち (青森県) |
| 西沢葉火 (長野県) | 菊池 京 (青森県) |
| 奈良一艘 (青森県) | まみどり (青森県) |
| 寺川弘一 (大阪府) | 熊谷冬鼓 (青森県) |

須藤しんのすけ【すとうしんのすけ・青森県弘前市】

具の無いカレー乗り遅れたいバスを待つ
母になる娘と初めての火花
雨降りが多い三冊目の日記
初めてのルーージュ蓄色色選びおり
ダイオールのピンクエルメスのオレンジ

先月号の
お気に入り

中心がぶれたままならず嫁ぐ
妻よりも親しい女友達が三人います(´▽`)/女と男ってそん
なもんですよね(笑)
田久保亜蘭

高橋星湖

【たかはしせいこ・青森県むつ市】

ポケットで夢の残渣を温めてる
昔むかし小さなサナギでありました
バラの花今日誕生日という事実
ワッセワッセ雑草たちの鬨ぎ合い
脱いでも脱いでも現れない私

先月号の
お気に入り

むさし【むさし・青森県蓬田村】

おしゃべりな後頭葉と夜の淵
クモの巣を破ってしまうシジミチョウ
マスク外せば鼻がボロリと落ちますよ
星空を金子兜太が泳いでる
カレー粉をまぶせば僕に戻ります

「無人駅」は会員の自由な発表の場です。
未発表句5句をお寄せください。
また、お手元の最新号から、
お好きな作品とそれに対するコメントも
お待ちしております。

宿題『背』

青森県五所川原市

佐藤寿見子選

【佳作】

背の割りに足が大きい金魚です
 流行の背骨をつけて夏が来る
 軽軽とシーツを滑る夫の背
 いつだつて誰かの背を見て生きてきた
 背中だけ置いていったか風が吹く
 気が付けばきみも背中が曲がったな
 背景に桜が咲いて日本人
 解脱する肩甲骨を軋ませて
 今 背を押されたら宇宙まで行くわ
 意に背き飛び出た家に縛られた
 背景を掘り下げてから名台詞
 先細の靴で背脂チャツチャ系
 背景は鈴なりトマトにして欲しい
 ここからの背中合わせがあたたかい
 夕暮れに手放した背ののつべらぼう

鳴海賢治
臙

岩根彰子
熊谷冬鼓
夏草ふぶき
木村美映
村井規子
奈良一艘
田中薫
村上あつこ
三好光明
宮井いずみ
熊谷冬鼓
守田啓子
四ツ屋いずみ

宿題『競う』

奈良県大和郡山市

ひとり静選

【佳作】

カボチャの馬車もガラスの靴も競りに出す
 自助努力類語辞典も歳時記も
 陽もひまわりもプラス思考で攻めてくる
 なら見せしましよぼうっかりと空いた穴
 土手カボチャ誰とも比べたりしない
 スマホよりガラケー冷酒よりビール
 人生の楽しみ方は負けてない
 葉を全部落としてからの勝負です
 僕であるためです負けず嫌いです
 持久戦だったら負けぬ気がしてる
 一番を本気で目指すひと静か
 勝ち癖がついたようですほぼむほん
 勲章を並べる烏賊の一夜干し
 競ったら哲学的と言っておく
 紫か青かりンドウの軸足

むさし

斎藤泰子
きざらぎ彼句吾
守田啓子
熊谷冬鼓
葉 閑女
村井規子
米山明日歌
三浦蒼鬼
斎藤泰子
村井規子
吉松澄子
西沢葉火
三好光明
菊池 京

ゴウゴウと滝を背負ってきた女
 取り急ぎ背中に鍵をかけました
 背中までたどり着けない山手線
 温い手で影の背中をグツと押す
 ここまでの挙げ句の果てを背負うべく
 【五客】
 背信の爪猫の爪研いでみる
 背中には廃棄と書かれ列にいる
 美しい背中でリード伴走者
 蝉しぐれ背骨は抜いておきました
 悔しさの一つ一つをおんぶする
 【人位】
 ぬるつと夏つかみどころのない背中
 【地位】
 けれどとはリサ・ラーソンの猫のこと
 【天位】
 背いても母 背かれても聖母子
 葉 閑女

米山明日歌
尾崎良仁
尾崎良仁
三好光明
斎藤泰子
四ツ屋いずみ
まきこ
青砥和子
郷田みや
かんえもん
笹田かなえ
宮井いずみ

◆今年、コロナウィルスのため県内は軒並み大会が中止になり寂しい
 思いでしたが、今こうして選者としての機会をいただき、緊張しながら
 も楽しく選をさせていただきました◆〈天位〉大人の都合で子供が犠牲
 になる現実。聖母子に私の母性が火照っています◆〈地位〉けれどと小
 さくてとばけた猫の取り合わせが、面白いと思います◆〈人位〉だんだ
 ん四季の境目が分からなくなり、梅雨は終わったのか？いつから夏なのか？
 コロナと熱中症対策で家に閉じ籠る背中です◆

結果論踏ん張りの効かぬ地平線
 咲き方を誰と競うか聞いているの
 黙示録にも順番がある
 緑vs.緑息することを忘れてる
 五輪よりワクチンがまず先でしょう
 【五客】
 はじめから逃げ腰だものひややつこ
 やせ我慢競う放物線だから
 しかるべく平行線になり走る
 一斉に登り始める蜘蛛の糸
 若冲と藤田とへへへと私
 【人位】
 たんぼぼの境界線のずらし方
 【地位】
 あの夏で終わった 柱の傷跡
 【天位】
 つばぜり合いの途中で海が見たくなる
 むさし

田中薫
郷田みや
臙
笹田かなえ
村井規子
宮井いずみ
月波与生
寺川弘一
一 帆
斉尾くにこ

天…何に拘ってこんなに張り合っているのだと、ふと我に返る時、自分で自分を
 笑いたくなる時、広い海を思う。海という言葉の選択が素敵です。地…久しぶり
 に柱の傷に触れてみると、もう戻らないあの時代あの出来事が走馬灯のように現
 れる。終わったという言葉に何か深い事情がありそうな気がする。人…昔からずつ
 とそのようにして生き延びてきたタンポポ。人間にタンポポのような考え方、適
 応力があれば世界はもっと違っていたのかもしれない。

宿題『自由詠』

青森県弘前市 奈良 一艘選

【佳作】

そんなまあるいおんなのはなしなんか
メルアドはこちら十億当たります
泣き虫夏虫アンメルツよこよこ
もう泣いていいですか鈍色の空
運不運雲梯越えて雲海へ
年金を千切りにして匙で吸う
ご葬儀の家族割り引きいかがです
肛門を開くいつものとおりです
これからのこと喋り出す九月の樹
正解は一度潰してから拾う
ササゲぶらぶら八月の再起動
右眉にかかる線状降水帯
わめいたら応えてくれる夜の海
束縛はゴシック体の海である
ぼにてーるはだけた夏の抜き衣紋

田久保亜蘭
まきこ
峯島 妙
守田啓子
四ツ屋いずみ
旅 男
宮井いずみ
鳴海賢治
斎藤泰子
寺川弘一
守田啓子
むさし
寺川弘一
三浦蒼鬼
斉尾くにこ

十和田たてがみ川柳会7月誌上句会

【参加者】磯島雅男・漆館ミノリ・久保あざみ・木村奈生美・斉藤蛙井・佐藤まさあき・城後朱美・瀧尻善英・福田芳詔・村上昌子・高田幸柳

■課題『窓』

久保あざみ 選

【平抜き】

しがらみを自作自責と放つ窓
これは恋南の窓を開け放つ
どの鍵で心の窓を開けますか
気まぐれな心の窓へ吹かぬ風
信頼が心の窓を開かせる
コロナうつ窓の汚れに気付かない
長生きの窓を全開して呼吸
全開の窓だ心も見せたまま
夜汽車窓君の名前を書いて消し
車窓から駅弁買った日の思い
窓越しに見えた想い出走馬灯

村上 昌子
城後 朱美
斉藤 蛙井
村上 昌子
佐藤まさあき
城後 朱美
磯島 雅男
木村奈生美
高田 幸柳
佐藤まさあき
高田 幸柳

×印は続く まだ離れない離さない
下駄箱を出て下駄箱に戻るまで
誘惑をしたがる濡れた薬指
大胆に水羊羹に足掛けて
冗談は白線踏んでからにする

まきこ
斉尾くにこ
石橋芳山
岩根彰子
郷田みや

【五客】
半分はバナナの従姉妹なんだから
通り雨ほどの傷です見せましよう
アサガオのつるの病的好奇心
さよならはトマトの湯むき終えてから
紙飛行機落下 知恵熱後はケモノ

田久保亜蘭
まみどり
安藤なみ
葉 閑女
きさらぎ彼句吾

【人位】
無記名になるとやつぱりこう来るか

斎藤泰子

【地位】
とりあえず人の形はしてたのよ

村井規子

【天位】
訳ありのせんべいの耳から夕陽

三浦蒼鬼

◆天位：訳ありのせんべいの比喩がピカいち。地位一人の形をいろいろ想像できる面白さ◆人位：無記名の着地の妙◆

新マシンさくさく窓を開ける記事
開けた窓風が散歩をねだる朝

磯島 雅男
高田 幸柳

【秀逸】

窓が額月が絵のよう一人じめ

漆館ミノリ

温情へみんな広げる胸の窓

木村奈生美

【特選】

窓際でちよいちよい正論吐いている

瀧尻 善英

■課題『真ん中』

齊藤 蛙井 選

【平抜き】

ドクターの見立てどんびしゃストライク
円満な家族は母がどまん中
GOTOはコロナまん中誰のため
まん中の膺が証拠の母子絆
プチトマト白いお皿のまん中に
ドーナツの穴を覗けばコロナ渦
アイラブユーをまん中で受け止める
我が家での中心点に母の笑み
団欒の家族のまん中母が居る

福田 芳詔
漆館ミノリ
漆館ミノリ
福田 芳詔
城後 朱美
磯島 雅男
城後 朱美
木村奈生美
佐藤まさあき

友の輪の真ん中鬼を閉じ込める
鯛焼きを食べるまん中から食べる
ダメ元の告白直球どまん中

木村奈生美
城後 朱美
高田 幸柳

【秀逸】

両親のまん中で寝た幼い日
コンパスの中心点が定まらず

久保あざみ
瀧尻 善英

【特選】

世界中自分がまんなかだと思う

村上 昌子

■課題 『まとも』

瀧尻 善英 選

【平抜き】

町内の世話役まともで波立たず
さよならもまとも云えず切れた糸
荒れ球をキャッチャーミット腕と獲り
コロナ時期まとも生きるむずかしさ
車イス漕いでまともな舗装ゆく
買い物にマイバッグ持つ忘れずに
付度がまともな政治死語にする
悪疫がまともな暮らし遠くする

佐藤まさあき
斉藤 蛙井
福田 芳詔
漆館ミノリ
磯島 雅男
久保あざみ
高田 幸柳
高田 幸柳

良い所まともに似てとDNA
コロナ禍でまともに明日が見えますか
真つ当な頑張りへ良い風が吹く
答弁はまともに答えず はぐらかす

木村奈生美
斉藤 蛙井
木村奈生美
佐藤まさあき

【秀逸】

真つ当に生きる私の水鏡
まともだと思つた妻は破天荒

磯島 雅男
城後 朱美

【特選】

直球で答え求める子の瞳

村上 昌子

■十和田たてがみ川柳会9月句会案内

【時】9月19日(土)午前10時から 【所】十和田労働
福祉会館 【宿題】(各題三句詠)『無責任』久保あざみ
選/『虚し』斉藤蛙井選 【互選】(二句詠)『むかし』
当日出席者のみ(句箋の裏に雅号記入) 【席題】一題
(三句詠・共撰) / 選者は、瀧尻善英ほか出席者から一
名 【投句先】〒034-0049 十和田市西二十二番町2-
21 十和田労働福祉会館 高田幸柳あて

一 参加者募集 一

川柳吟行会「ぽ」

今回の課題は「流」。参加者には選結果がまとまり次第メール発信しています。ここまですが第一段階。その後メールで選後評のやり取りをしています。今回は仮名表記の是非や音字数のこと等意見交換されました。ページの都合上掲載は第一段階までですが、選後評に興味のある方の投句もお待ちしております。

【7点】特×3・佳×1

わたしから流れ出す夕焼けの赤

守田啓子

【恵子】夕焼けが滲んで流れ出す様子が見えました。こうして静かに老いてゆくのでしょうか。【紫の園】《自分から流れ出る夕焼けの赤》は燃えた真つ赤な色と思われる。その流れ出た赤の真実はさて何かと考えさせられます。【五郎】映画のワンシーンを思わせる。どんな赤なのか空想が尽きることがない【与生】夕焼けは赤いもの

7月句会

熊谷冬鼓

だ、と思っっちゃうとこの句はわからないわけで。

【6点】特×2・佳×2

飛びたくて流線型の朝にする

宮井いずみ

【さち】一日の始まり。流線型にして、さあ飛び立とう。明るく前向きに、自分に喝を入れていこう。【冬鼓】流線型の朝の表現が斬新。自分を奮い立たせるルーティンがあるのかも知れない。颯爽として若々しい。【一艘】朝を流線型にしてしまう発想が新鮮で心地良い。【隆志】流線型の朝をみつけて飛び立つなんてすごい。

【5点】特×1・佳×3

ごすべるがびびく三百万のかんせんしゃ

奈良一艘

【かなえ】「ひびく」＝「流れる」の連想です。い句の仕立て方だが落とせなかった。病むアメリカ力が描かれてい

る。【いずみ】三百万だけが漢字。黒人の悲しみが際立つ。
【彰子】今を表現。ひびくが進行形でより不気味感が伝わる。【冬鼓】感染者が1日で一万人を超えることもあるという米国。平仮名表記に人種差別問題も見える。

水曜は流されてみてはどうでしょう 守田啓子

【一艘】どこの局かは知らないが「水曜はどうでしょう」というテレビ番組があった。内容は詳しくは知らない。だが曜日といえば水曜日という位置は1週間の中でほぼ中間。中間、中間管理職と捉えれば流されてみるのもまた道理。と、変な深読みをして納得してしまう。平凡な書き方だがユニークでいて深いし、この場合の中八はそんなに気にはならない。【こあき】これからは水曜と言わず、流れには逆らいますまい。【さち】ケセラセラと脱力感がうらやましい。コロナ鬱もいなさそう。【五郎】肩の力の抜け方がいい。

【4点】特×1・佳×2

「十七才」流れたころの膝頭 吉見恵子

【与生】鍵括弧を付けたので、誰もいない海への歌を連

パンのピアノ曲。ついには、演奏者の右手が踝に流れ着いていたとは……。

【2点】特×1

自己流で老いて蠅捕草踊る 月波与生

【こあき】老いてなお自己流を貫き通す：他人に流されることはないですね。蠅捕草インパクトある。

岩にドンと白く砕けて流れおり 紫の園

【彰子】大きな景で生きるが詠まれて魅了されました。然し、ドンとの「と」は説明かとも感じました。

流行に一度も乗れぬおじいさん 月波与生

【文音】時代の流れに一度も乗れないというペーソスが、とても川柳的だと思います。

流石って言われてからは半夏生 熊谷冬鼓

【いずみ】単なる褒め言葉ではなく微妙な褒めのある「流石」。奇妙に目立って臭気のある半夏生になってもおかしくない。

想させるが付けない方が句のイメージは広がったかも。
【彰子】橘高薫風恋人の膝はレモンの丸さかなを想いしましたが、十七才と流れたころのとの拮抗が良い。【旅男】若気の至り、スネの傷に思い到ります。

【3点】特×1・佳×1

流水で5分ときめきスタンバイ 宮井いずみ

【旅男】爽やかでスタート感が満載。【こあき】5分は長いけど、それだけときめきも長くなる。

八月を新しい水に取り替える 小野五郎

【啓子】戦争、ウィルス：一掃できそう。水の流れが滞っているような現在地をうまく表現してる。【冬鼓】水槽の水を替えるように。スッキリした八月を迎えたいものだ。

踝にシヨパンの右手流れ着く 小野五郎

【隆志】踝にシヨパンの右手が流れ着くなんて、とても思いつきません。感心しました。【恵子】全身を包むシヨ

【2点】佳×2

キュツと鳴る半幅帯は質流れ 岩根彰子

【恵子】着目点が面白く、仕立ての上手い句です。キュツと鳴るに現実感があります。【旅男】質流れに掴まれました。私は流す方でした。

せせらぎは無いのだ桃は死んだのだ 奈良一艘

【いずみ】厳しいなあ。ヒーローはもういない。【かなえ】この桃の姿に虐待死を重ねてしまった。

アドレスはヤシの実流れ着くところ 奈良一艘

【紫の園】《アドレスはヤシの実の流れ着くところ》とは何てロマンチックなアドレスでしょう。【文音】アドレスに人生の流転を思いました。願わくばせめて終の栖にしたい所。

【1点】(佳) かなえ

流れ落ちる母の背中のさつま芋 笹田隆志

【かなえ】ごろんと転がるさつま芋。重荷を下ろしたお母さん。

□ 2020.09.15 ✕ 創立 90 周年記念 川柳研究誌上大会

【課題】(各二句・二人選)「単純」竹田光柳・佐道正共選/「曲がる」今田久帆・齊藤由紀子共選/「アート」島田駱舟・いしがみ鉄共選/「しみじみ」雫石隆子・安藤紀業共選【投句方法】応募用紙又は便箋へ1行置きに。住所、氏名、電話番号を明記【投句料】千円(切手不可) 発表誌呈【締切】令和2年9月15日(当日消印有効)【賞】合点5位まで楯、30位まで記念品(同点は着到順)【発表】「川柳研究」誌12月号【投句先】〒353-0006 埼玉県志木市館2-3-6-1403 佐野方 のべふゆは(野邊富優葉)宛【問合せ】048-472-8885【主催】川柳研究社

□ 2020.09.18 ✕ 第 74 回青森県川柳大会

東奥日報社と東奥日報文化財団は「第74回青森県川柳大会」を開催します。今年は新型コロナウイルスの感染拡大防止のため紙上大会となります。【入選作品発表】11月上旬。東奥日報紙上および東奥日報文化財団ホームページに掲載【会費】2千円。高校生以下無料【特別選】「調和」(1人2句)尾藤川柳選【宿題】(1人各2句)「癖」瀧尻善英・むさし共選「祈り」岩崎眞里子・千島鉄男共選「哀歓」笹田かなえ・白川莫共選「磨く」野沢省悟・田鎖晴天共選「ひたひた」三浦蒼鬼・田沢恒坊共選「歌」高瀬霜石・工藤青夏共選【投句】作品は全て未発表に限り。応募用紙は同文化財団ホームページ(<https://www.toonippo.co.jp/feature/z-bunka>)からダウンロードできます。または、はがき大の紙7枚を使用し、紙の右上に特別選、宿題名をそれぞれ記入し、各題2句ずつ楷書で書いてください。いずれか1枚の裏面に郵便番号、住所、氏名(ふりがな)・電話番号を明記(学生の場合は学校名、学年も)。大会会費(郵便小為替)を添えて、郵便番号030-0801 青森市新町2の2の11、東奥日報新町ビル2階、東奥日報文化財団「県川柳大会係」宛てにお送りください。問い合わせは同文化財団(電話017・718・5115)へ【締め切り】9月18日(金)必着

□ 2020.10.04 第 57 回五所川原川柳大会

【日時】令和2年10月4日(日)午前9時30分受付(席題発表10時30分)投句締切11時30分【会場】五所川原市中央公民館1階大ホール【会費】4000円(昼食・懇親会・発表誌)【宿題】(2句詠)『余す』北山まみどり・むさし共選『まさか』菊池京・千島鉄男共選『微妙』きさらぎ彼句吾・岩崎雪洲共選【席題】(2句詠)2題『』三浦蒼鬼・野沢省悟共選『』福士慕情・高瀬霜石共選【特別課題】(1句詠)『遠慮』守田啓子・佐藤雅秀・田沢恒坊・千葉かほる・太田久共選 ※投句拝辞【賞】宿・席題合点20位まで・特別課題3位まで【連絡】0173-34-3698 沢田百合子さんまで ◆ご参加いただく際には、マスク着用をお願いいたします。【主催】川柳岩木吟社・五所川原市文化振興会議

初夏の滝レモンサワーの味がする 福田文音
 【与生】くのような味ではなく言い切ったところがいい。

流木の独白 森だった頃の 宮井いずみ
 【一艘】森だった頃という過去への懐かしさが琴線に触れた。

予定表真っ白 あっ流れ星 熊谷冬鼓
 【文音】コロナのせいばかりでないけど、予定がないとその時に流れ星の夜空のドッキリ感がいい。

老々介護の静かなる激流 旅男
 【五郎】きびしい現実をストレートに表現した。

げんまんをお忘れですか流れ星 福田文音
 【啓子】成就できないことは流れ星のせいに。おとぼけがおもしろい。

ブナの森 水一滴のものがたり 吉見恵子

【紫の園】森も川も一滴の水から生まれ、流れ流れて物語を紡いで河口まで旅します。17文字にまとめられて素晴らしい

羽根のない背中に流れ星刺さる 月波与生
 【隆志】羽根のない背中与流れ星ささるがスピード感あつていい。

桜草のピンクを流しちゃいけません 滋野さち
 【啓子】さいごまで素朴なピンクを持ち続けたいとね。

自己流で生きて咲く花咲かぬ花 渡邊こあき
 【さち】理屈っぽくて、箴言っぽくて、突っ張っている感じが面白い。

 ●今後の課題と締切

10月『魚』締切：10月21日(第3水曜日)
 11月『横』締切：11月18日(第3水曜日)

●投句先
 toko@okajoki.com 熊谷冬鼓宛

■会費拝受【7月受付分】

山内もとこ・野口三代子(以上愛媛県) / 桜田富士江(蓬田村) / 奈良一艘(弘前市) / 村上あつこ(青森市)

■おかげょうき川柳社会員募集中!

会員ならびに当誌購読希望の方は、下記の口座までお振り込み下さい。

→郵便振替 No.02280-6-43112 口座名:おかげょうき川柳社

→会費:6,000円(1年分)

おかげょうき川柳社 お問い合わせ先

●投句以外のことについてはこちらへ●

熊谷冬鼓 toko@okajoki.com FAX.017-752-3759

〒039-3502 青森市久栗坂浜田 87-2

●投句全般についてはこちらへ●

守田啓子 moriko@okajoki.com

終着駅 Sin

◆日曜21時放送の「半沢直樹」をご覧になってる方も多いのではなからうか。前回の「倍返し」ブームから8年経ち、満を持しての第2シーズンとなった。あれから、池井戸潤原作のドラマはヒット続きはもちろんのこと、当時、それほど有名ではなかった出演俳優らが今売れっ子として活躍している◆軒並み、出演俳優の演技でSNS上は盛り上がっているが、池井戸潤の作品の面白さとして挙げられるのが、いろんな作品の時系列を同時進行させることによって、すべての物語を大きな世界として楽しめることである。例えば、「下町ロケット」に出てくる佃製作所ならびに帝国重工の名前が、2019年放送の「ノーサイド・ゲーム」内に登場するラグビーチームのスポンサーだったり、今の「半沢直樹」でも東京セントラル証券の株価のボードに、帝国重工の

株価が表示されるなど、池井戸潤ファンにとっては、その名前の向こう側に、違うドラマが展開されているという思いを馳せられるわけである◆中でも、遊び心満載だったのが、その「半沢直樹」の直後に堺雅人が破天荒な弁護士を演じる「リーガル・ハイ」という、これまた大人気ドラマの脚本である。これは、TBSでもなければ、池井戸潤作品でもないが、その第1話目に「やられてなくても、やり返す!八つ当たりだ!」と堺雅人に言わせるから、大爆笑してしまった。また、その弁護士が利用するメインバンクの通帳が映されると、そう、半沢直樹がいる東京中央銀行になっているだ(笑)◆川柳においても、こういう遊び心や仕掛けの妙が、作品に深さを出している作品も多い。ただ、笑えればいいという安易なことではないので、気をつけよう(笑)◆Sin

おかげょうき川柳社 作品募集案内

□ 2020.09.16 「川柳吟行会 ぼ」9月句会

【投句締切】9月16日(第3水曜日)【題・投句数】「石」3句【投句先】toko@okajoki.com 熊谷冬鼓宛 *吟行不可につき投句による句会とします。参加者全員による選・選評をメールで交換。後日月刊おかげょうきに掲載。メール交換できる方ならどなたでも参加可。

□ 2020.09.20 おかげょうき会員雑詠集「無人駅」5句(11月号分)

【締切】9月20日15時必着【提出】雑詠5句、お気に入り1句(最新号からお好きな作品1句とそれに対する簡単なコメントも記入)、柳号、居住地【掲載】11/10発行号【提出先】moriko@okajoki.com 守田啓子宛【ネットからの投句】http://www.okajoki.com/toku/mujineki.html

□ 2020.10.03 おかげょうき川柳社本社10月句会

【投句締切】10月2日(金)15時【宿題】(各題3句詠)『他』藤田めぐみ(東京都)選/『溜まる』斎藤泰子(秋田県)選/『自由詠』奈良一艘(青森県)選【投句先】moriko@okajoki.com(守田啓子)【ネットからの投句】http://www.okajoki.com/toku/ 郵便・FAXでの投句不可 ■会員以外の方も参加可、掲載号呈(住所記載がない場合は掲載号の発送ができません。投句フォーム利用時は席題欄に住所・方書き明記)

□ 2020.10.20 おかげょうき会員雑詠集「無人駅」5句(12月号分)

【締切】10月20日15時必着【提出】雑詠5句、お気に入り1句(最新号からお好きな作品1句とそれに対する簡単なコメントも記入)、柳号、居住地【掲載】12/10発行号【提出先】moriko@okajoki.com 守田啓子宛【ネットからの投句】http://www.okajoki.com/toku/mujineki.html

□ 2020.10.21 ♪ 「川柳吟行会 ぼ」10月句会

【投句締切】10月21日(第3水曜日)【題・投句数】「魚」3句【投句先】toko@okajoki.com 熊谷冬鼓宛 *吟行不可につき投句による句会とします。参加者全員による選・選評をメールで交換。後日月刊おかげょうきに掲載。メール交換できる方ならどなたでも参加可。

第25回

杉野十佐一賞
作品募集

課題/締切

「(^o^)/」(2句詠) / 2020.9.30 ✕

選者

徳永政二 (滋賀県/「びわこ番傘川柳会」所属)

なかはられいこ (岐阜県/「ねじまき句会」所属)

樋口由紀子 (兵庫県/「晴」編集発行人)

広瀬ちえみ (宮城県/「杜人」所属)

小林茂子 (岡山県/第24回杉野十佐一賞大賞受賞者)

むさし (青森県/おかじょうき川柳社 代表)

投句料

1,000円 (発表誌をもって投句料領収したものとさせていただきます/締切日まで投句料が入金された場合のみ作品を受け付けます)

応募方法

※誠に申し訳ありませんが、今回より郵送・FAXでの応募は受け付けておりません。

【ウェブサイトからの応募】

http://okajoki.com/tosaichi/contest/へアクセスし、作品応募フォームから必要事項を記入して送信してください。送信後、締め切り日までに下記口座に投句料1,000円をお振り込みください。

【メールで直接送信する場合】

メール本文内に「作品(2句まで)」「郵便番号」「住所」「氏名または雅号(ふりがな)」「電話番号」を明記し、件名に「第25回杉野十佐一賞」として、下記送信先までメール送信してください。

<送信先アドレス: moriko@okajoki.com >

送信後、下記口座に投句料1,000円をお振り込みください。

振込先: 郵便振替 No.02280-6-43112 口座名 おかじょうき川柳社

発表

月刊おかじょうき 2021年1月号の誌上において発表。

サイト掲載: 2021年1月中旬

賞

上位入賞者に青森県特産品を贈呈。

諸権利について

基本的に著作権は作者に帰属しますが、出版権、雑誌掲載権など、作品を自由に利用できる権利は、おかじょうき川柳社に帰属します。

その他注意事項

※作品は応募者の自作で未発表のものに限ります。※応募された原稿に関するお問い合わせや、審査結果の問い合わせには応じられません。※個人情報については、許可なく他の目的で使用することはありません。